

私たちが目指すもの

私たちは、北アルプスの自然の恵みと、その恩恵を受けた松本と高山に根づくこの地域を、一つの観光圏として捉えたときに、多彩で上質な体験と滞在ができる魅力的な観光地経営によって、地域の価値が向上し、持続的な発展につながるものと考えます。観光産業をエンジンとして、この地域社会の持続性を高め、50年、100年先の未来のためのエコシステムの形成（＝高付加価値な観光地域づくり）を目指します。



高山市 古い町並

Topics 1

国内の旅行会社を招聘したモニターツアーを実施しました！

<目的と成果>

昨年から本協議会でコアバリューをもとに議論し、検討したツアーコンセプトに基づき、以下を実証するため、9月に国内の旅行会社3者（※1）にツアーを通じた実証を行いました。本実証は、ストーリーツアー造成PJTメンバーを中心に行いました（各PJTはVol.2を参照ください）

●ツアーコンセプトが外国人旅行者に響くかどうかの検証

→3者からは、モニターツアー実施後のインタビューにて、コンセプト案「北アルプスの森とともに育まれた、伝統的かつコンテンポラリーなクラフトマンシップを巡る旅」は各社の顧客にマッチすると回答があった。一方で、各個々との地名よりもイメージがわかりやすい北アルプスを前面に押し出すべきとの意見もあった。

●販売に向けての可能性や課題について

→3者からは、モニターツアー実施後のインタビューにて、現状においては東京・京都を訪問するゴールデンルートに+αで足を伸ばしてもらった初来日が最も来訪の可能性が高い中、松本高山には長くて2日間。リピーター向けでも最大5日間で行程を組むのが良いとの意見であった。今回の宿・コンテンツについては十分に販売できる内容との意見であった。

●各エリアのLOP機能（手配・受入環境等）事業者によるロールプレイ（※2）

→地域素材のコンテンツ化に向けて地域事業者とランドオペレーター(LOP)機能事業者との関係構築ができた一方で、エリア毎に事情も異なるが、関係者が多岐にわたり、企画・造成・手配・販売までのオペレーションにおけるLOP機能事業者の役割分担をより明確にする必要性が示唆された。

<実施内容>

日程	モニターツアー行程の概要		
	AM	PM	宿泊
9/9		松本市街地 プリューワリー見学 市街地水巡り、善哉酒造	浅間温泉 松本十帖
9/10	松本市街地 むすび農園	乗鞍 美鈴荘バレルサウナ体験	奥飛騨温泉 湯本 長座
9/11	上高地 (カラマツの原木をめぐるハイキング)	上高地 (カラマツの原木をめぐるハイキング)	高山市街地 谷屋、すみや
9/12	高山市 牧野さんとの森林ツアー	高山市 宮大工訪問、箸づくり体験	高山市街地 谷屋、すみや
9/13	フィードバック 谷屋		

※1) 招聘した旅行会社について

- BOJ株式会社：
コンテンツ造成からインバウンドコンサル、欧米豪の富裕層向けDMC事業等、様々な領域を扱う。
- アヤベックス株式会社：
ランドオペレーターとしてインバウンドに特化した会社。団体ツアー～富裕層まで幅広く扱う。
- UNTOLD JAPAN：
訪日顧客とのマンツーマンでのコンサルテーションを踏まえたFITに特化した旅行会社。

※2) LOPとしてロールプレイした各エリアの事業者について

- 松本エリア：松本研究会（扉ホールディングス・アルピコホールディングス・山荷葉）
- 山岳エリア：クラブツーリズム・近畿日本ツーリスト・信州未来づくりカンパニー
- 高山エリア：株式会社CoLC・株式会社シージェット・ハッピープラス株式会社・クラブツーリズム・近畿日本ツーリスト株式会社高山営業所



Topics 2

12月にフランス カンヌで開催されるラグジュアリートラベルマートに当地域から初出展します！

— ILTM (International Luxury Travel Market) とは —

世界で最も権威があるといわれるラグジュアリートラベル専門の商談会。中でもILTM Cannesは、出展団体数は80か国以上から約2,300、訪れるバイヤー数は2,000名以上、毎年カンヌ映画祭の会場で4日間開催され、その規模はILTMの中でも最大級。今回は当エリアを代表して、JNTO（日本政府観光局）が設置する日本エリア内に商談ブースを開設し、世界に売り込んでまいります。

— ILTMでのプレゼンター紹介 —

○ロレーヌ・ロジャー

フランスアンジェ市在住。日本文化が好きで来日、約5年間在住し、佐賀県・岡山県の日本酒等の海外PR、またILTMの商談経験あり。高山は複数回の訪問経験があり、松本では明神館のフランスでのPR等に従事。

○笠井 大介

山荷葉CEO/CoLC CMO兼COO。2021年よりwondertrunk&co.として松本高山BigBridge構想実現プロジェクトに参画、翌年から環境省中部山岳国立公園利用企画官として、世界水準のナショナルパーク魅力づくりに従事。両市を行き来しながら持続可能な観光地域経営について日夜奔走。

豊かな自然、絶好のハイキングコース、素敵な温泉、歴史が素晴らしい街です。このエリアに訪ねただけのよう精一杯努力します！



松本からは朝日に照らされ、高山からは夕陽に輝く北アルプスの荘厳な姿は、世界に誇る地域の宝物だと信じています。世界中の旅人にこの感動を伝えていきます！

告知！

本年12月16日に松本・高山の未来を考えるシンポジウムを開催します

次第として観光庁「地方における高付加価値な観光地づくり」事業の進捗報告や、地域の関係者によるパネルディスカッション等を予定しています。会場は松本市ではありますが、高山市も含め、観光関係者のみならず、地域の振興に関わる様々な方々のご参加をお待ちしております。

日時：12月16日（月）13:00～ 場所：松本市中央公民館（Mウィング）

参加費：無料 申込：右記QRコードより12月12日（木）までに申し込みください

申込フォームはこちら



インバウンド最前線

今回は高山市のインバウンドの概況をレポートします！

高山市外国人観光客宿泊統計によれば、

○高山市のインバウンドは統計開始以来右肩あがりに上昇し、コロナ前の平成31年・令和元年に最多で61万人を超え、コロナ後も急激な回復をしている（図1）。

○直近の令和5年度においては特に北米、欧州地域の宿泊者数の戻りが早く、平成31年・令和元年と比較して約8割まで回復。

○また、昨年の本協議会が実施した訪日外国人アンケート調査（図2）によると、訪日外国人観光客の消費の大きさから、インバウンド振興は地域への経済的な貢献が期待される。

○高山市では「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域づくり実現のため、市民と来訪者双方の満足度向上を見据えた受入れ環境の強化やプロモーションなどのインバウンド施策に取り組んでいる。

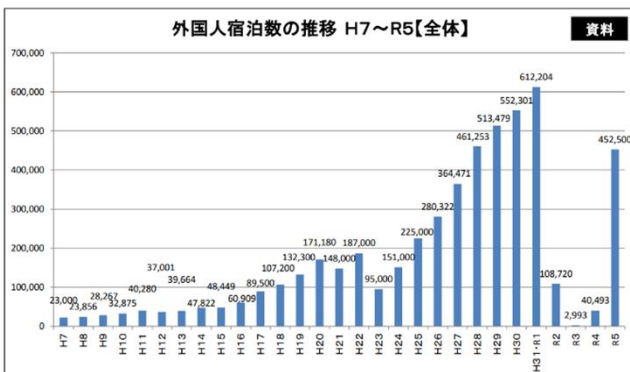


図1) 令和5年高山市外国人観光客宿泊統計（資料編）より抜粋

訪日外国人観光客の観光消費額（単位：円）（参考）日本人観光客の観光消費額（単位：円）

アンケート費目(n=117)	平均
宿泊費	35,900
買物・土産購入費	9,753
飲食費（昼・夕）	17,082
交通費	10,165
入館・入場料	5,159
体験・その他	9,410
計	87,469

図2) 令和5年訪日外国人アンケート調査結果から抜粋して加工

アンケート費目	宿泊(n=2,606)	日帰り(n=122)	加重平均
宿泊費	20,291	0	19,384
土産品費	6,094	4,345	6,016
飲食費	7,152	4,858	7,049
交通費	3,433	1,566	3,350
見学費	732	571	725
その他	1,809	1,831	1,810
計	39,511	13,171	38,333

図3) 令和5年高山市観光統計における日本人観光客へのアンケート調査結果から算出

To be continued：次号では他のPJT等の経過報告を紹介する予定です。